

小田原市健康増進計画に対する市民意見の募集結果について

1 意見募集の概要

政策等の題名	小田原市健康増進計画
政策等の案の公表の日	平成 24 年 12 月 17 日
意見提出期間	平成 24 年 12 月 17 日～平成 25 年 1 月 17 日
市民への周知方法	広報・ホームページ等

2 結果の概要

提出された意見は、次のとおりです。

意見数（意見提出者数）	67 件（5 人）
インターネット	2 人
ファクシミリ	2 人
郵送	人
直接持参	1 人

※市民等以外のものから提出された意見を除きます。

3 提出意見の内容

パブリックコメントで提出された意見の内容とそれに対する市の考え方は、次のとおりです。

〈総括表〉

区分	意見の考慮の結果	件数
A	意見を踏まえ、政策等に反映したもの	4
B	意見の趣旨が既に政策等に反映されているもの	3
C	今後の検討のために参考とするもの	11
D	その他（質問など）	49

〈具体的な内容〉

(1) 策定の背景に関すること

	意見の内容（要旨）	区分	市の考え方（政策案との差異を含む。）
1	ますます病気や介護の負担が増加する中・・・、病気の負担とは何か。次の文言と重なるがこのくだりは必要か。（P1）	D	「 <u>病気になる人や介護の～</u> 」に変更しました。
2	推測されています。とあるが、	D	■要支援者・要介護認定者の推移は、グラフから、

	他の文献、資料に推測されているなら、資料名を入れた方がよい。(P 6)		年々増加していることから、「年々増加しています」に変更しました。
3	死因別では、国や県と同様に・・・とあるが国や県のデータはどこにあるのか。9 頁のグラフは小田原市の数値であると思うが。ここに国や県のデータがあるとよいのでは。(P 8)	D	国と県と比較できるグラフに変更しました。
4	健康状態男性・グラフ：合計 100%にならない場合のコメントが必要では。97 頁・(3)・③の後段に 100%にならない場合があると追記したらどうか。(P 12)	D	ご意見のとおり、97 頁の「市民アンケートについて」(3) ③に「合計は 100%にならない場合があります」と追記しました。
5	・・・と答えた女性の職業は、・・・専業主婦が多く・・・：職業別のデータが添付されていないので、確認ができない。また、設問では「受けていない」となっている。(P 15)	D	職業別のグラフは付けず、文章のみで表記します。また、設問のとおり「受けていない」に修正しました。
6	22.2%は、14 頁の女性だけの数値ではないか？(P 18)	D	うつ病などのこころの病気は女性に多く、重要な課題であるため、「女性の場合」と明記し、数値の 22.2%が女性の数値であることが分かりやすいように文言を追記しました。
7	重点的に取り組む事業としているので、29 頁(1)と 35 頁の(2)については、裏づけデータが必要ではないか。(P 29)	D	P 18 の市民の健康課題と、それぞれのリード文及び【現状】で重点的に取り組む事業の裏つけと考えています。
8	全疾患受診件数の 13.1%→13.3%ではないか。(P 29)	D	13.3%に、修正しました。
9	現状：4 行目：脳血管疾患患者数は、では。(P 29)	D	り患者数としました。
10	現状・3 行目：21.7%→21.8%ではないか。(P 35)	D	21.8%に修正しました。
11	現状：朝食摂取状況の説明を要	D	朝食摂取状況の現状について説明文を入れまし

	する。46 頁に目標としていることから。(P43)		た。
12	3 歳児健康診査・・・保有率 21.1%→21.8%ではないか。(P65)	D	21.8%に修正しました。
13	現状:部位別死亡数の多いがん、男女とも1位肺・・・とあるが確認できない。(P70)	D	今回は統計を載せていませんので、文章のみで表記しました。
14	すべてのデータが計画書にないのが残念ですが、見落としもあるかもしれませんので、再度引用したデータの頁でも記載していただければ、確認がとれてよいかと思います。	D	可能な限り、データを入れました。

(2) 施策の展開等に関することと

	意見の内容(要旨)	区分	市の考え方(政策案との差異を含む。)
1	市特定健診の有所見者で Hb A 1c の項目が血圧値より高いが対策に反映されていない。(P2)	A	高血圧、脂質異常症、糖尿病等を生活習慣病という中に取り込み表記しています。現状で問題提起をしてありますので、取組は、生活習慣病としてとらえています。また、◇地域・職域・関係団体の取組の中の、○医療機関、薬局、薬剤師等による健康に関する情報の発信の中に、糖尿病週間行事を追加します。
2	平成 22 年の健康寿命の表があるが、これがあると平成 34 年の健康寿命目標値を確認したくなる。(P20)	C	健康増進法に則り、「健康日本 21(第 2 次)」や「かながわ健康プラン 21」を勘案し、目標を定めました。 また、具体的な目標値を設定は難しいことから、「健康寿命の延伸」を目標にしておりますので、具体的な修正をいたしません。
3	「基本目標」は「目的」にした方が良い。(P20, 28)		
4	10 年先(H34 年度)の目標を設定する必要がある。(P20)		
5	家庭での血圧管理の重要性を認識する:このくだりは重要であるので、今後、媒体を通じ市民の目に触れるようにしてほしい	C	取組を推進する際の参考にさせていただきます。

	い。(P21)		
6	<p>青年期：健康づくりの取組が難しい時期ではあるが、壮年期や高齢期を見据え、生活習慣病にならないための情報を入手させ、意識させることが、この時期には必要があると思う。</p> <p>(P22)</p>	C	取組を推進する際の参考にさせていただきます。
7	<p>喫煙：未成年者の喫煙率の減少→「なくす」ではないか。また、60頁では未成年としているので、文言の整合を。(P25)</p>	D	未成年者の喫煙率の目標値は0%であることから、減少ではなく「なくす」に修正しました。また、「未成年者」で統一しました。
8	<p>こころの健康、自殺者、目標値は、「減少傾向へ」ではなく、確実に「減少」させなくてはならないのでは。(P26)</p>	D	国の表現に準じ、「減少傾向」で統一しました。
9	<p>家庭で血圧測定を習慣化する。と家庭で血圧を測定する。壮年期と高齢期は習慣化されているのか。(P32)</p>	D	目標として、習慣化していると想定しています。
10	<p>職域との連携強化、事業所への訪問指導の徹底：この項目はすばらしい、是非がんばって、取組をお願いしたい。(P34)</p>	D	
11	<p>歯科保健の推進強化について取組が、う蝕と歯周疾患の疾病のみになっているので、リード文にもあるように口腔機能の獲得・保持についても加えていただければと思いました。(P35)</p>	A	取組の中の◇行政の取組の中に、「○口腔機能の健全な育成と維持向上の推進」を追記しました。また、◇歯科保健の推進強化の「○疾病管理のための教育の充実」を「口腔機能の維持向上と疾病管理のための教育等の充実」に変更しました。
12	<p>目標項目が80歳、3歳、12歳であり、12歳と80歳の間に目標がないので、成人期の目標が必要なのではないか。データ収集が可能な項目があれば、成人期と老年期に1項目ずつあるとよ</p>	D	現状値を示すものがないこと、又今後、現状がみえる指標で活用可能な統計に限界があるため、この目標項目としました。

	いと思う。(P39, 68)		
13	ライフステージごとの取組の行動目標の中に、「かかりつけ歯科医を持ち、定期的な健診を受ける」とある。しかし、35頁5行目「本市の歯科口腔保健の現状は、国が掲げる「80歳で20本の歯を持つ」者の割合が低率である～」とあり、【現状】4つめの○「アンケートによると～、過去1年間に歯科健診に歯科健診を受診した者は、～国と比較すると高率です」とあるので、単に歯科検診を受けただけでは、目標を達成できないということではないか。歯科保健指導を加えてはどうか。市民アンケートで、歯科医院の受診とともに、保健指導を受けているかも聞えると思う。(P40, 68)	B	かかりつけ歯科医を持ち、定期的に歯科健診を受けるを「～定期的に歯科検診・歯科保健指導を受ける」に修正しました。
14	②乳幼児期 むし歯予防は、歯みがきに加えて食習慣がとても重要であるので、加えて欲しい。口腔機能の発達段階であるので、しっかりとよく嚙むといった項目も欲しい。(P40, 68)	A	「望ましい食習慣・運動など規則正しい生活をする」を追加しました。
15	③学齢期 予防のために歯みがきしか載せていないで、歯や歯肉の自己観察力の習得を加えて欲しい。口腔機能の発達段階であるので、しっかりとよく嚙むといった項目も欲しい。(P40, 68)	B	「永久歯のう歯(むし歯)や歯周病の予防のため正しい歯みがき習慣と歯や歯肉の観察習慣を身につける。」に修正しました。
16	④デンタルフロスを用いる歯間部清掃は青年期にも加えてほしい。(P40, 68)	A	「デンタルフロスを用いて歯間部清掃を習慣化する。」に修正しました。
17	行動計画まで詳細に本計画に載	D	

	<p>っていることは、大変重要で評価できると思います。(P43)</p>		
18	<p>10年と云う長い間には組織も人も変わってゆくことを想定し、計画段階で「推進組織」と各部門の長の「役割・責任」を明確にしておく必要がある。</p> <p>(1) 関係団体との連携・協働の下に、次の「推進組織」と「役割・責任」を追加する。(P94)</p>	C	<p>計画の中で、推進体制は、これから事業を展開するためにはとても重要であると考えています。今後の計画を推進するに当たり、参考にいたします。</p>
19	<p>うまく進行管理が出来ていると云う姿は、①目標がしっかり定められており、②目標に対し乖離(良い時も悪い時も)が出たときその原因が究明され、③対策案を添えて上位者に報告される。</p> <p>この時必要なのが報告書である。</p> <p>「年度活動報告書」考えましたので、これを参考にいただき、このたびの活動にふさわしい報告書を作っていただければ幸いです。(P94)</p>		
20	<p>計画作りに無関心層へのアプローチを意識した計画を策定していただきたい。また目標達成にはこの活動に「熱心な人」とそれに「賛同して行動する人」をどれだけ多く作れるかが重要で、この人づくりはやはり行政が主導すべきです。</p>	C	<p>今後の活動の参考にいたします。</p>
21	<p>黒岩知事は「健康寿命日本一」を目指した誘致事業を検討する、これに関連して「創意工夫を競争させて良いアイデアを</p>	B	<p>かながわ健康プラン 21 を勘案しながら計画しました。</p>

	支援する」と述べたそうです。県の施策とのマッチングを考えておくことも必要ではないでしょうか。		
22	健康増進計画を「小田原市のC I 事業」に位置づけ、「健康のまちづくり宣言」をするなどして、健康増進運動を協力を推進してほしい。	C	今後の活動の参考にいたします。
23	ウエルネスキューブ大宮では、「寝たきり防止・生活習慣病予防を主眼とした医療・福祉サービスの提供」、「健康増進を目指す食育推進」などのコンセプトを加味した「総合医療」を行っていると聞いています。小田原市（市立病院）でも医療・運動・栄養を三位一体とした「総合医療」を目指していただきたいと思えます。	C	今後の活動の参考にいたします。
24	韓国へ旅行に行った際、どこの公園にも青空ジムがあり、市民が筋肉トレーニングに励んでいました。青空ジムまで走り、そこで筋肉トレーニングをし、井戸端会議をしてから、出勤する。健康増進に繋がるかと思い、提案させて頂きました。利用者は高齢者も多く見られました。	C	今後の活動の参考にいたします。

(3)その他に関すること

	意見の内容（要旨）	区分	市の考え方（政策案との差異を含む。）
1	市民の健康余命は、ここで初めて健康余命という言葉が出てきた。健康寿命と平均余命との使い分けをしていくのか。（P18）	D	「健康寿命」に修正しました。

2	健康診査と健診の使い分けは？ (P19)	D	全て健康診査に統一しました。
3	がん(悪性新生物):違和感はないが、21頁以前には文言として出てきていない。(P21)	D	1頁、悪性新生物(以下がん)に修正しました。
4	がん健診はがん検診の誤りか。 (P21)	D	ご意見のとおり、がん検診への表記に修正しました。
5	壮年期・生活習慣病等に罹(か)かる、ルビがあるとよいのでは。(P22)	D	～生活習慣病等になるに修正しました。
6	医療:・・・重要な役割を果たしています。→果たします。ではないか。(P23)	D	「果たしています」の表記で統一しました。
7	行政:住民同士が支え合うような地域づくりへの支援が重要です。ではないか。(P23)	D	前後の文脈から、「市民の健康課題・・・地域づくりが重要です。」に修正しました。
8	いのちを大切にするおだわら →19頁の「いのちを大切にする小田原」との違いは。(P25)	D	小田原に統一しました。
9	計画の体系図:非常にわかりやすくまとまっています。(P28)	D	
10	【取組】の頁の右上スペースに「(1)脳血管疾患予防プロジェクト」と表記されていると見やすい。(以降同様に)(P32)	D	ヘッダーの中央部分に、項目名を表記しました。
11	語句については、歯科健診は歯科健康診査の略で使用することが多いので、歯科検診の方がよいのではと思う箇所がありました。歯周病と歯周疾患は同じなので、どちらかに統一をした方がよいと思います。 4つめの○「歯科健診」は「歯科検診」ではないか。健診は健康診査の略で使います。(P34)	D	歯科検診で統一します。事業名は正式名称を使用します。
12	歯科検診→歯科健診 では。	D	名称を整理し、表記しました。

	(P41, 42)		
13	基本理念の・・・小田原を目指しては「小田原(まち)」のルビが必要ではないか。(P43)	D	ご指摘のとおり、小田原にルビをつけました。
14	分野の名称を上部に表記されていると見やすい。(12 分野すべて)(P43)	D	26 の意見と同様に、ヘッダーの中央に表記しました。
15	障害者は、障がい者と表記の検討はされたのか。(P43)	D	「障がい」にすべて変更しました。
16	ウォーキング整備事業とは？施設整備をするのか。(P53)	D	ご意見のとおりです。
17	カット(イラスト)は対象が小学生？大人向けのカットの方がよいのではないか。(P55)	D	大人のカットに変更しました。
18	地域：各地区による育児グループの実施、何を実施するのかわからない。(P56)	D	育児グループの注釈をつけました。
19	したがって・・・は前段の未成年者飲酒を指すように思えるので、この接続語はおかしい。(P62)	D	文章を直しました。「未成年者の飲酒を防止することが重要です。」と修正しました。
20	男性より・・・は誰がかわからない。(P62)	D	「女性は、男性より」に修正しました。
21	咀嚼、ルビを要するのでは。	D	「咀嚼」で統一しました。
22	地域取組：かかりつけ歯科医の普及、かかりつけ歯科医を持つことへの普及と理解してよいか。(P65)	D	ご意見のとおりです。
23	がん検診の受診率の推移：暦年ではなく、年度の誤りか。(P71)	D	年度の表記に修正しました。
24	行政の取組：ペプシノゲン検査の導入の検討、ペプシノゲンについての用語の説明を要するのではないか。(P73)	D	注釈をいれました。
25	目標・自殺者の減少：目標値に減少傾向へとあるが、減少とす	D	国の表記にあわせて、減少傾向と表記しています。

	べきではないか。(P82)		
26	新進?(P92)	D	「心身」に修正しました。
27	行政の取組：健康づくりサポーターとは。ホームページで検索できなかった。(P93)	D	健康づくりサポーターの注釈を入れました。
28	これだけのボリュームの検討をなさった策定委員会の皆様に敬意を表します。	D	
29	何にポイントを置いて市民の健康増進を推進していくかが理解できました。(特に体系図は見やすい。)	D	

4 提出意見と関係なく変更した点
無